



タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

開館記念もちつき大会

博物館は今年で39年目を迎えます。長い間みなさまに親しまれてきた開館記念のもちつきを今年も行います。老若男女を問わず、今年の締めと来年への期待を込め日本の伝統行事であるもちつきに参加しませんか。昭和時代の昔の遊びコーナーもあります。これに合わせて、昔の遊びを支援していただける方も募集します。前日までに博物館へご連絡ください。▶日時：12月28日(木) 10:00～11:30▶場所：博物館前庭▶参加無料(要申込み、協力会会員優先受付)▶定員：60名▶協力：知床博物館協力会



遺跡オタク☆カフェ

今月のミュージアムカフェは斜里町のチャシコツ岬上遺跡の発掘にも参加した無類の遺跡オタク、山田貴博氏(札幌学院大学3年)を招いて開催します。いま発掘が行われている道内各地の遺跡や、氏の出身地である青森県のマニアックなネタを用意しています。津軽弁も飛び出すかな? ▶日時：12月21日(木) 18:30～20:00▶場所：博物館2階、映像展



示室▶定員：13名(要申込み、協力会会員優先受付、最少催行人数5名)▶参加費：300円(協力会会員無料)▶協力：知床博物館協力会

特別展「知床の森のひみつ——人とクロテンとシテムシのつながり」

クロテンは森で死んだらどうなるのでしょうか? 森の生き物たちの糞はだれが片づけているのでしょうか? 人々は昔から知床の森で動物たちをどうやって捕まえ、どのように利用してきたのでしょうか? 知床で失われてしまった動物とは?

この特別展では、人も含めて生き物たちのつながりの不思議をさぐり、知床の森にかくされたひみつをちょっとだけ紹介します。▶期間：平成30年1月19日(金)～3月11日(日)▶場所：交流記念館ホール▶特別展のみの観覧は無料です。

主な展示物

- ・遺跡から出土した動物骨や皮なめしに使った道具
- ・今回の特別展のためにアイヌの古老が制作した狩猟道具
- ・動物の死骸や糞が分解されて土に

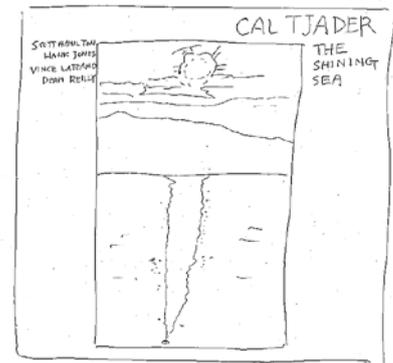
かえるまでのプロセスを実物標本、模型、動画で紹介

- ・子育てするシテムシやヒッチハイクをするダニなど不思議な生きものたちが登場
- ・知床の生態系すごろくに挑戦



マエモンシテムシ

今月の学芸員のイチオシ!



レコード カル・ジェイダー：The Shining Sea 学生時代、渋谷のジャズ喫茶でバイトをしていた時、プリプリのジャズばかりを聞いている中、柔らかなPianoの旋律とVibesのなんとも心地よい響きで心を奪われたアルバムです。是非聞いてみてください。(松田)

休館日 12月の休館日は4・11・18・25日(月)、23日(祝)、29日(金)～翌年1月5日(金)の年末年始です。

編集後記 住みなれた来運から本町に下りてきたらFMラジオのノイズが増えました(暁)